

志戸坂峠防災の整備効果

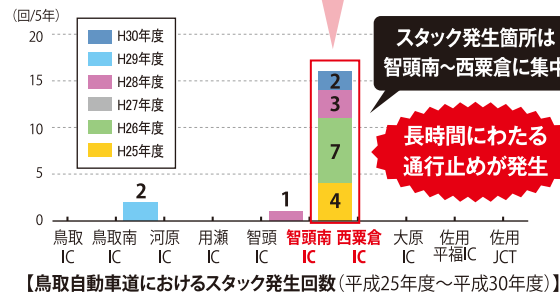
効果① 冬季における交通機能の確保

鳥取自動車道では、智頭南IC～西粟倉IC間で冬季車両立ち往生（スタック）が多発しており、大雪等の災害時における物流や観光などの経済活動、住民生活に支障をきたしています。

志戸坂峠防災の整備により、冬季においても交通機能を確保することができ、安全・安心な通行が期待されます。

平成29年1月大雪時の主なスタックの発生状況

場所	日時 (H29.1)	車種	通行止時間
ほき詰橋付近	23日 16:30頃	大型車	25分
	23日 21:55頃	大型車(他50台)	約35時間
笹尾高架橋付近	24日 14:00頃	大型車(他30台)	約23時間



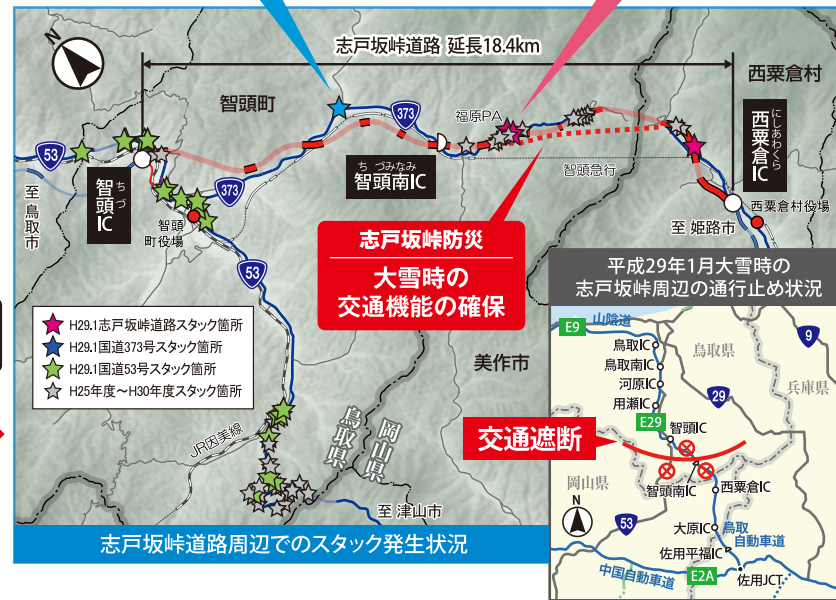
国道373号(智頭町大内)でのスタック

- ・発生日時: 1月23日 18:30頃
- ・立ち往生車両: **最大204台**
- ・規制解除まで: **約46時間**



志戸坂峠道路(ほき詰橋付近)でのスタック

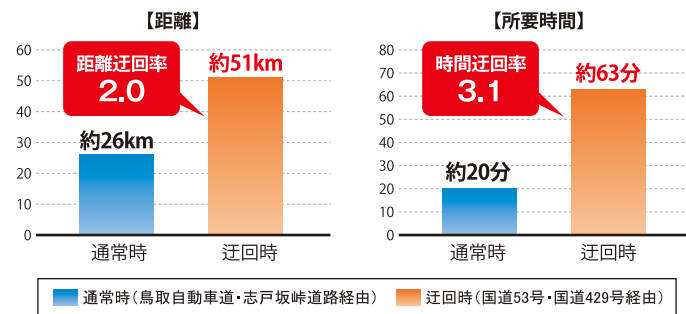
- ・発生日時: 1月23日 21:55頃
- ・立ち往生車両: **最大50台**
- ・規制解除まで: **約35時間**



効果② 交通事故の減少と代替路確保による信頼性の向上

志戸坂峠道路(坂根～駒帰)では、冬季のスタックや交通事故により通行止めが発生しており、周辺に代替路が存在しないため、大幅な迂回が生じています。

志戸坂峠防災の整備により、当該道路が代替路として機能することで大幅な迂回が解消し、道路の信頼性向上に寄与します。



出典: H27全国道路・街路交通情勢調査 ※所要時間算出の速度は、混雑時旅行速度を活用

